

[各支部での特別講演]

# 岡山県における透析医療災害対策への取り組み

笛木久雄

岡山県医師会透析医部会/日本透析医会医療安全対策委員会災害時透析医療対策部会

key words : 各県支部, 成功要因, 情報管理, 防災訓練

## 要 旨

阪神淡路大震災を機に、日本透析医会の推進している透析医会各県支部設立の一環として、1997年7月に岡山県医師会透析医部会が結成された。

岡山県支部では2000年に災害対策委員会を中心にホームページを立ち上げ、独自のPC用ソフトを開発して平時および災害時情報ネットワークを整備し、毎年県内全透析施設参加による防災訓練を実施するなど隣接する他県を含めて実践的防災活動を展開している。

## はじめに

2003年4月13日、島根県透析医会総会において災害対策に関し講演を依頼された。

「岡山県における透析医療災害対策への取り組み」と題して講演を行ったのでその内容を報告する。

## 1 岡山県医師会透析医部会発足のモチベーション

草野功（透析医部会会長）はかねてより県透析医会の構想を練っていたが、阪神淡路大震災を機に、県内透析施設間で組織的防災体制づくりの気運が高まったため発起人会を招集し、日本透析医会岡山支部の結成を提案してその第一歩を踏み出すことになった。

- ① 阪神淡路大震災の教訓から災害対策の重要性を認識
- ② 単なる学術研究会とは目的を異にする透析施設組

織化の必要性

## 2 岡山県医師会透析医部会（日本透析医会岡山県支部）の目的

- ① 透析医療技術の質的向上と施設診療格差の是正を図る。
- ② 診療報酬関連事項および問題となる診療行為や事故などの迅速な情報提供を行い、会員の利益を保守する。
- ③ 情報ネットワークを通じて会員相互の連携意識を高め、合わせて透析患者を援護する。

## 3 岡山県支部結成成功の要因

成功の要因としては次の4点があげられる。

- ① 草野功会長の統率力
- ② 熱心な役員集団を選任
- ③ 県下全透析施設の会員登録と透析関連団体の協力
- ④ コンピュータープロ集団のバックアップ

## 4 岡山県支部の組織とネットワーク

組織図と情報ネットワークを図1、図2、図3に示す。

## 5 岡山方式での透析医療情報管理

- ① 西崎内科医院内のGIS本社（グリーン情報システムズ株式会社）に情報管理用ホストコンピュータ

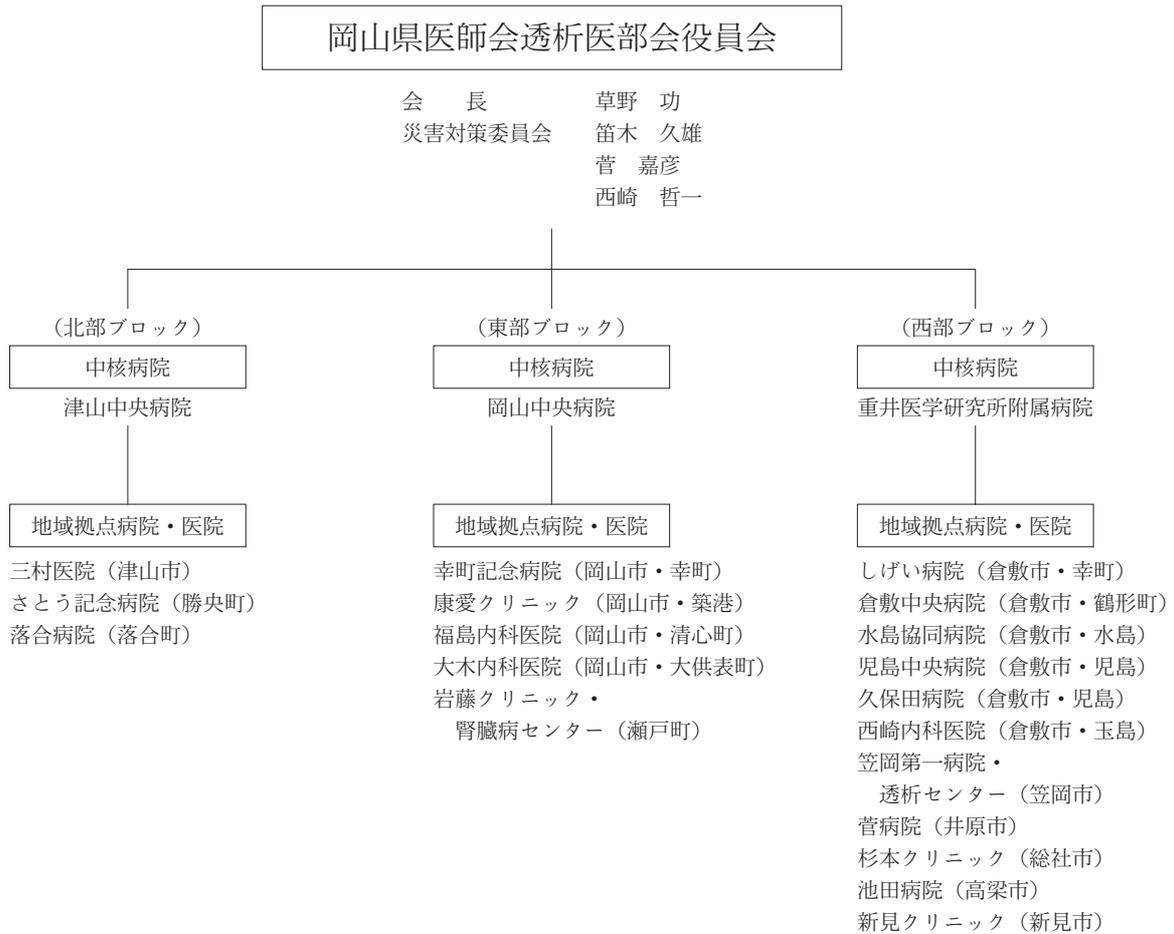
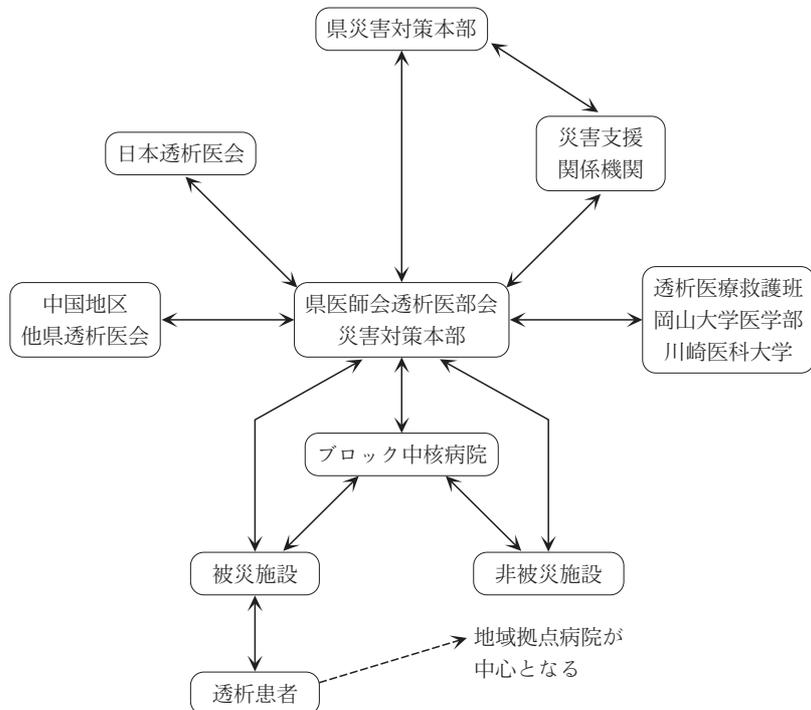


図1 岡山県医師会透析医部会組織図



通信網が途絶えた場合、透析患者が直接非被災施設に駆け込むこともありうる。

図2 大規模災害ネットワーク図

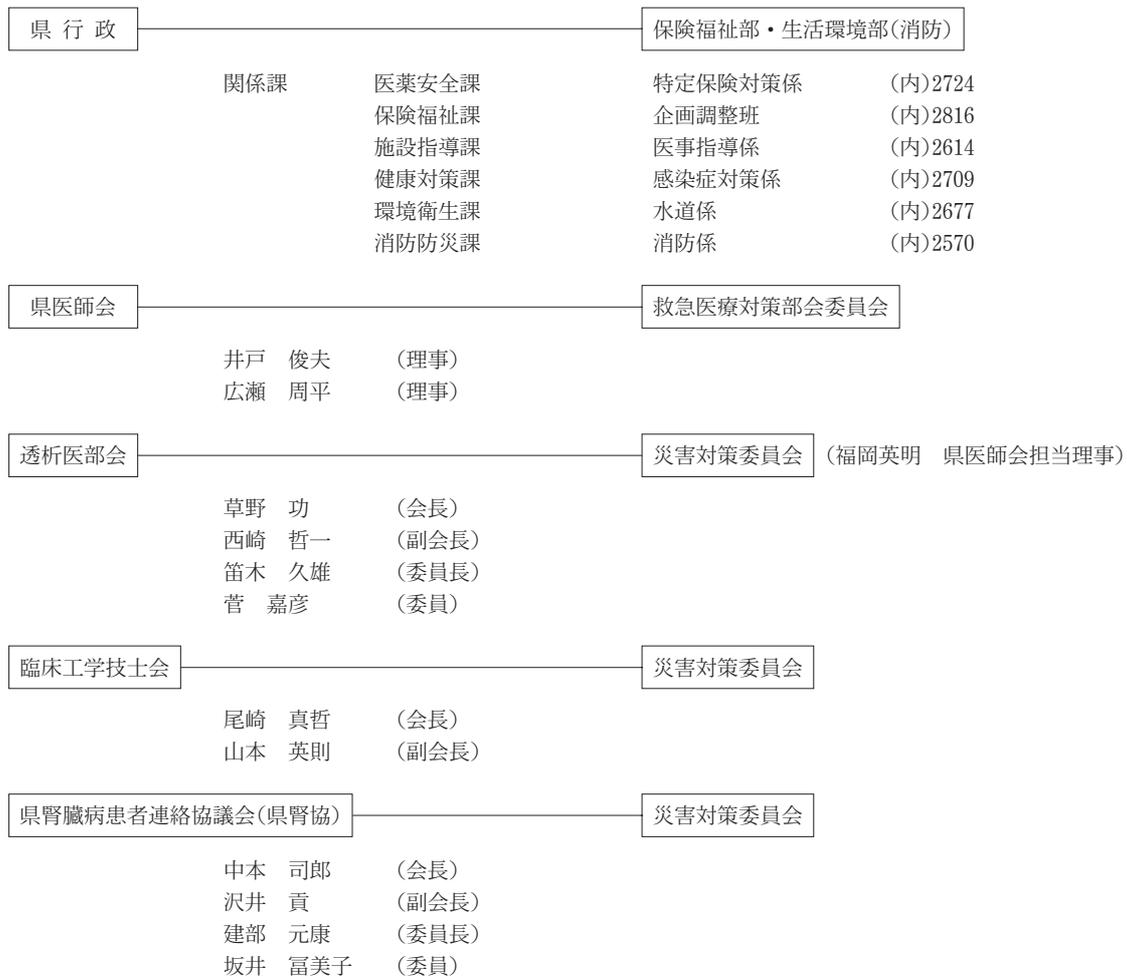


図3 透析医療に係る各種団体

ーを設置している。

- ② 西崎内科医院に災害対策本部を常設して災害対策委員会を開催し、防災に係る協議を行っている。
- ③ ホームページを開設し、防災専用ソフトを構築して災害時必要となるデータを収集・管理している。
- ④ 透析施設毎の患者データをバックアップしている。
- ⑤ ホームページ内に多彩なリンクサイトを有している。
- ⑥ 透析医療に係る各種関連機関や団体の担当者が存在し、透析医部会との定例・臨時の協議を行っている。
- ⑦ 情報ネットワークの平時における活用を行っている。

## 6 コンピューターシステムの管理

- ① GIS 本社内の業務用大容量ホストコンピューターを利用し、その管理はGISに委託している。
- ② 3名のサーバー要員が割り当てられ、交代でメール管理、データ入力、通信業務を行っている。

- ③ 震度6以上の地震発生時、即座に災害対策本部コンピューターが立ち上げられ、3名のサーバー要員がコンピューター専任となる。

- ② 災害対策本部には災害専用パソコン3台、PCプロジェクター、災害時優先電話、災害用FAXを設置している。
- ③ 西崎内科医院は2001年1月に新築落成し、震度7の耐震設計で空冷式自家発電機を有している。

## 7 岡山県支部のあゆみ

- ① ファーストステップ (準備期)
  - 1996年12月 岡山県透析医会設立発起人会
  - 1997年2月 透析医会規約案策定と、各種委員会の設定
  - 1997年5月 岡山県医師会理事会に対し、透析医部会設立の要望書を提出し、岡山県医師会透析医部会として承認 (任意団体では無い)

## ② セカンドステップ (始動期)

- 1997年6月 岡山県医師会透析医部会規約の決定と災害対策マニュアルの策定開始
- 1999年7月 岡山県医師会透析医部会第1回総会において規約, 役員人事, 災害対策マニュアルを承認, 災害時情報ネットワークの組織図が完成
- 1999年11月 第1回施設防災責任者連絡会議において, 施設防災マニュアルと施設患者用防災マニュアルの手引書配布と説明
- 1999年11月 県行政との「第1回透析医療災害対策連絡会議」にて関係6課の担当者が決定

## ③ サードステップ

- 1999年 年末～ 災害対策委員は災害対策本部に  
1月1日 越年待機し, 2000年問題をクリアー
- 2000年4月 施設防災チェックリストのアンケート調査
- 2000年8月2日 災害専用コンピューターソフトが完成し岡山県医師会透析医部会ホームページ完成
- 2000年8月24日 第1回防災訓練
- 2000年10月6日 鳥取県西部地震に対応
- 2000年10月24日 大災害発生時「透析医療救護班」結成に関し, 岡山大学医学部第三内科教授および川崎医科大学腎臓内科教授との懇談会にて要請を快諾
- 2000年11月 岡山赤十字病院より災害時透析医療は岡山県医師会透析医部会に委託協力
- 2001年3月24日 芸予地震

## 8 災害対策の二面性と三要素

災害対策には災害前対策と災害時対策の二面性がある。

## ① 災害前対策

平時に行う対策であり, 3つの要素から成り立って

いる。

- ① 防災システムの確立  
できるだけ多数の透析施設を会員として登録し, 県透析医会を結成する。
- ② 情報システムの構築  
防災システムを支える道具としてPC情報ネットワークを構築する。
- ③ 防災訓練の実地  
防災訓練を実施して初めてシステムの有効性と有用性が実証される。
- ② 災害時対策  
災害対策本部を設置し, 災害対策本部長を中心として災害対策委員が責任ある立場で事に当たる。

## 9 防災訓練はどこまでするのか

防災訓練を実施するに当たっては被災施設情報の表示だけでは実効性が無い。

- ① どこに連絡するのか——情報送信と表示
- ② 連絡した後どうするのか——情報の解析と活用操作
- ③ 結果はどうなるのか——被災透析患者の移送先決定
- これらの3段階を盛り込んで初めて実効性のある訓練となる。

## 10 防災訓練に関する確認事項

災害の規模 (表1), 施設の被災状況 (表2), 行政との取り決め (表3), 災害初動期 (3日間) の対応 (図4) など多面的に検討しておく。

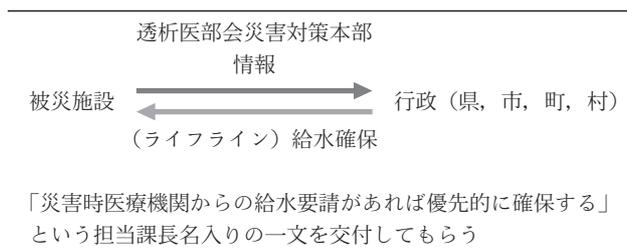
表1 災害の規模による分類

レベル1	小規模災害	1~2施設の損壊 小地域内対応
レベル2	中規模災害	3~5施設の損壊 ブロック内対応
レベル3	大規模広域災害	6施設以上の損壊 県全体越境での対応
レベル3への対応が可能なら1, 2も可能となる		

表2 被災透析施設の種類

I群	透析不能
II群	給水確保にて透析可能
III群	被災なしにて透析可能

表3 行政との確認協定



初 日	2 日 目	3 日 目
被災状況の確認 (施設・ライフライン)	透析治療継続の可・不可を判断 透析不能であれば他施設に患者移送	
判断に迷ったら早めに患者移送決定 透析可能となった時点で移送を取り消せば良い		

図4 透析施設における災害初動期（3日間）の決断

## 11 岡山県における防災訓練

岡山県では2000年にPC情報システムを立ち上げて以来、毎年県下全透析施設参加による防災訓練を実施しており、その都度問題点を浮き彫りにして訓練そのものに慣れを生じるに至っている。

- 第1回 2000年8月24日 北部ブロック  
津山市を中心として 震度6 M6.3
- 第2回 2001年8月28日 東部ブロック  
岡山市を中心として 震度7 M7.5  
兵庫県透析医会との合同訓練
- 第3回 2002年9月3日 西部ブロック  
倉敷市を中心として 震度7 M7.5  
広島県透析連絡協議会との合同訓練

## 12 情報の共有化と活用

情報をいかに共有化して活用するかが重要であり、岡山県では平時情報と災害時情報に分けてシステム化している。

- ① 平時情報
  - ① 一般公開情報
  - ② 会員専用情報（ログイン入力）
    - 日本透析医会情報
    - 岡山県医師会透析医部会情報

会員通信広場（掲示板）

- ③ リンクサイト
- ④ 会員名簿一覧表
- ⑤ 災害時用の施設情報マネジメントと患者情報マネジメント
- ② 災害時情報
  - ① 災害時情報送信  
被災あり  
被災なし
  - ② 災害時情報集計
  - ③ 被災透析患者受け入れ施設と振り分け集計

## 13 各県における災害対策の理想

情報システムを操作して活かすのは「人」であり、その責任者を明確にしておく必要がある。

- ① 日本透析医会各県支部を結成する。
- ② 災害対策委員と災害対策本部長を選任する。
- ③ 災害対策本部を設置する。

### おわりに

講演と熱心な質疑応答の機会をいただいた島根県透析医会および参加者各位に心より謝意を表す。

（平成15年4月13日/島根県「島根県透析医会平成15年度講習会」）